

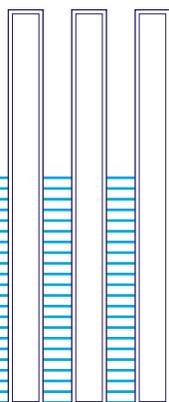
FULL HEIGHT DOOR®

フルハイトドア

施工手順書

ウォールスルー

ウォールスルー



施工を担当される方へ

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けした場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は内装扉を用途とする商品です。
他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は
当社では責任を負いかねます。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

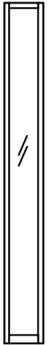
□ウォールスルー

施工手順書2013/6更新

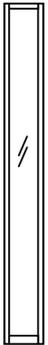
■製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

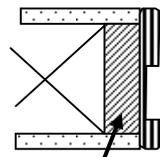
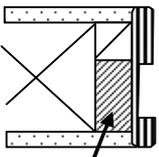
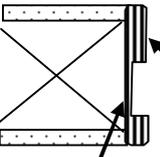
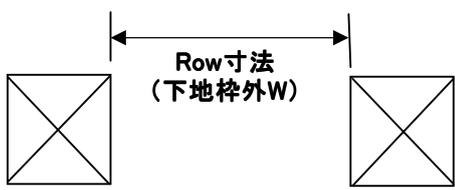
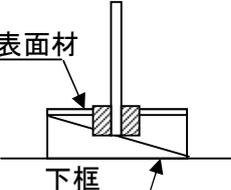
木製巾木

造作材			同					
部材	数量	備考						
ウォールスルー	1セット	ガラスはめ込み済み						
				梱				
			品					

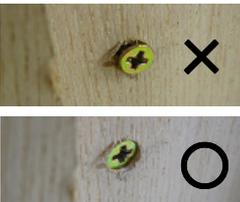
L型アルミ巾木

造作材			同	表面材			
部材	数量	備考		 1セット			
ウォールスルー	1セット	ガラスはめ込み済み					
				梱			
			品				

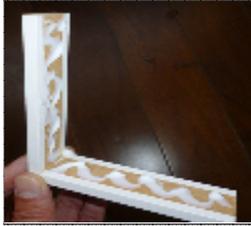
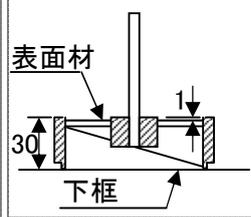
1 施工前の確認事項

<p>① ウォールスルーを取り付ける前に、開口部の中（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上げ～開口高さ）の確認をしてください。（ウォールスルーは床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>下地枠 隙間なく固定</p>	
	<p>×</p>	<p>×</p>	<p>○</p>	
	 <p>Row寸法 (下地枠外W)</p>		 <p>表面材 下枠</p>	
	<p>開口の確認</p>		<p>下枠部分の上面は表面材仕上げ</p>	
<p>注意</p>	<p>※ウォールスルーは躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。 ※下枠部分の上面は表面材にて仕上げていますので上下を間違わないでください。</p>			

2 ウォールスルーの取り付け

<p>① ウォールスルーを接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。（下穴が開いていませんので、必ず下穴をあけてから取り付けください）</p>				
	<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>下地表よりビス固定</p>	<p>下枠は斜めビス固定</p>	<p>ビス固定の方法</p>
				
<p>注意</p>	<p>※ウォールスルー取付面には、必ず接着剤（現場手配品）を全面に塗布してください。 ※ウォールスルーの取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用して取り付けてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。 ※下枠部分は表面材で仕上げていますので、取り付けは斜めからビスを止めてください。</p>			

3 巾木・クロス施工

<p>① 巾木を接着剤にて下框部分の表面・壁面にまわしてください。 (接着剤は酢ビ系をお勧めします)</p>				
	<p>接着剤全面塗布</p>	<p>巾木の取り付け</p>		
<p>② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをおすすめします) ガラス部分は、ガラス押え部分で見切ってください。</p>				
	<p>パテ処理</p>	<p>ガラス押えで見切る</p>	<p>下框部分と巾木は1mmの段差</p>	
<p>注意</p>	<p>※下框部分は表面材で仕上げていますので、クロスは貼らないでください。(巾木の高さより1mm段落ちしています)</p>			

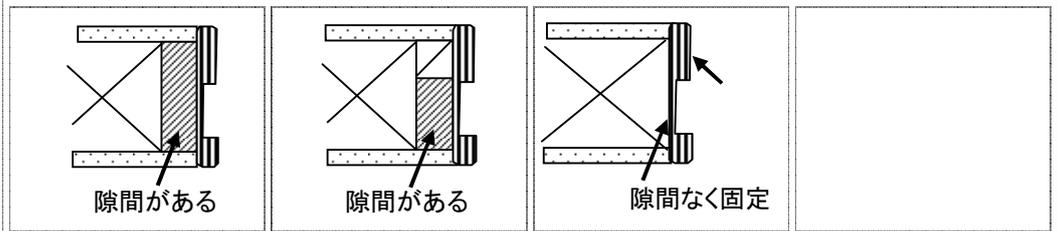
□ウォールスルー L型アルミ巾木

ウォールスルー

施工手順書2013/6更新

1 施工前の確認事項

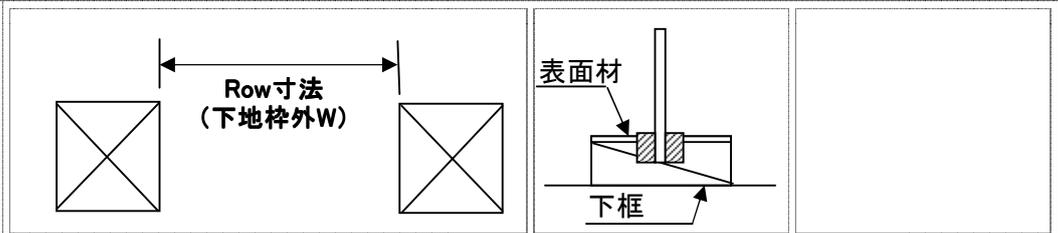
- ① ウォールスルーを取り付ける前に、開口部の中（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上げ～開口高さ）の確認をしてください。（ウォールスルーは床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



×

×

○



開口の確認

下框部分の上面は表面材仕上げ

注意

- ※ウォールスルーは躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
- ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。
- ※下框部分の下部はL型アルミ巾木の加工がしてありますので、上下を間違わないでください。

2 ウォールスルーの取り付け

- ① ウォールスルーを接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。（下穴があけてから取り付けください）



下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

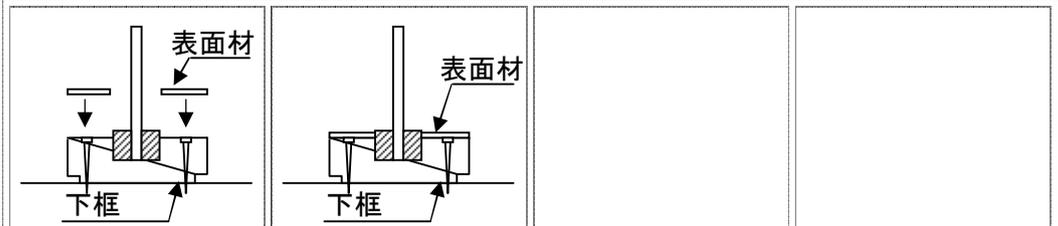
ビス固定の方法

×

ビス固定の方法

○

- ② ビス固定後、下框に同梱されている表面材を接着剤（現場手配品）にて取り付けます。



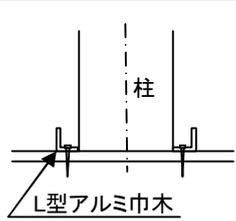
下框部分に表面材貼り付け

注意

- ※ウォールスルー取付面には、必ず接着剤（現場手配品）を全面に塗布してください。
- ※ウォールスルーの取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用して取り付けてください。
- ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

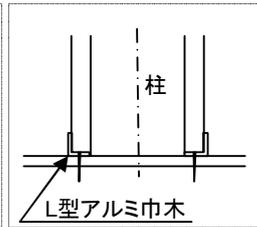
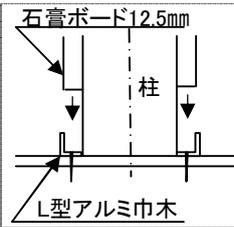
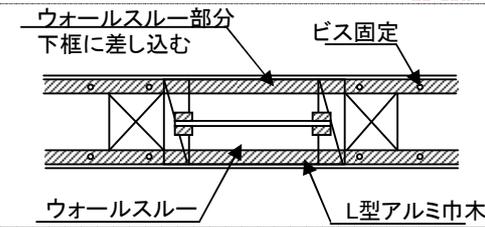
3 L型アルミ巾木の取り付け

① 石膏ボード施工前に、L型アルミ巾木を柱、または間柱に沿ってL型アルミ巾木と同梱されているビスにて固定します。



L型アルミ巾木の取り付け

② ウォールスルー部分は下框の下部にL型アルミ巾木の加工がしてありますので、L型アルミ巾木を差し込んで固定します。その後、石膏ボードをL型アルミ巾木に差し込んで施工してください。



下框の下部にL型アルミ巾木を差し込む

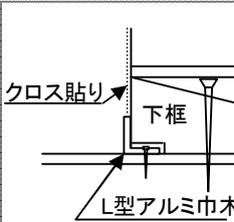
石膏ボードをL型アルミ巾木に差し込む

注意

- ※L型アルミ巾木は、石膏ボード12.5mmを前提とした商品となります。12.5mm以外のボードは利用できませんので、注意してください。
- ※床仕上げはフローリングの場合のみの対応となります。
- ※L型アルミ巾木は、必ず石膏ボード施工前に取り付けてください。

4 クロス施工

① パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします）
ガラス部分は、ガラス押え部分で見切ってください。



パテ処理

ガラス押えで見切る

下框の見付部分もクロス貼り



注意

- ※下框部分は表面材で仕上げているので、クロスは貼らないでください。
- ※下框の見付部分もクロスを貼って仕上げてください。